

道路建設産業労働組合協議会 〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 (日本舗道労働組合内) 電話03 (3562) 5857
URL: http://www1.ocn.ne.jp/cru

第16回 定期大会報告



あいさつする白井新議長

7月30日に東京都荒川区のホテルラングウッドにおいて第16回定期大会が開催された。当日は役員、代議員86名が参集した。

丸山祐二議長より「公共工事の縮減、入札契約適正化法の施行など建設産業が大きく変化し、雇用不安にもさらされている。様々な課題に適切に対応していくためにも道建労協、各組合が今まで以上に

に団結することが大事だと考える」と挨拶し、大会が始まった。

まず、2000年度の活動と決算の報告が審議され満場一致で承認された。

引き続き2001年度の運動方針案、予算案が審議され、質疑の後に満場一致で承認された。

運動方針に対する質問は、「議案書に組織の再編を踏まえた協議とあるが、どこまですすんでいるのか。」との質問があり、「ある組織より組織結集の誘いが来ている。今後1年で答えを出すことが確認されている。」との回答があった。また、「道路特定財源の縮小が叫ばれているが道建労協としてどのような対応をするのか。」との質問に対し、「組織としての議論はされていないが、ただ反対を唱えるのでは無く、道路特定財源の使われ方を含めて提言することもあり得る。」と回答した。

予算案には「組合員の減少にともなう収入減にどうように対応するのか」との質問があり、執行部より、「無駄を極力廃して支出を抑える努力が必要であるが、将来的には活動の見直しも必要となることもあり得る。」との回答があった。

役員改選では、新たに白井好雄議長(日本舗道労組)、竹山周作中央執行委員(大有労組)、伊藤園美中央執行委員(日本舗道労組)、須崎 厚会計監事(大林道路職組)の4名を加えた14名が承認され新執行部が発足した。

新執行部を代表して白井新議長が力強い挨拶を行い、道建労協は新年度に向け決意を新たに、力強い一歩を踏み出した。

なお、今大会をもって議長の丸山祐二氏(在任期間3年)、中央執行委員の桐生伸治氏(同5年)、会計監事の森野久美子氏(同3年)が退任された。大変お疲れさまでした。



退任役員、左から丸山祐二氏、桐生伸治氏、森野久美子氏

2001年度の取り組み

2001年度のはじまりにあたり一言ご挨拶申し上げます。

ご存知のように、世間の情勢をみますと、完全失業率が未曾有の5%に達し、IT産業を中心とした突然の景気低落により、数万人単位での雇用調整を実施するなど、環境が激変しております。又われわれを取り巻く建設産業においても、来年度の公共事業削減、道路特定財源の一般財源化問題、さらには先の特殊法人の民営化指示を含む小泉内閣の構造改革が、われわれにどのような影響を及ぼすのか不安をかくしきれません。

道路建設産業に働く私たちは「道づくり」をはじめとした社会資本整備という重要な役割を担い、経済の活性化と次世代への社会資本の蓄積に貢献しています。私たちは自分たちの働く産業を働く者の社会的、経済的地位の向上を図る。働きがいのあるいきいきとした産業へと変えていかなければなりません。道路建設という「ものづくり」の尊さ、すばらしさを再認識し社会へ貢献していくべきです。

さて今年度の重点課題と基本的な取り組みは、(1)労働条件の向上 (2)組織の充実と拡大 (3)産業政策活動 (4)広報、調査活動 の充実を引き続き行っていきます。(1)については特に時短、土休確保の解決のため、アスファルト協会や道建労協加盟単組への要請を今年度も引き続き強めていきます。(2)の組織の問題は非常に難しく、組織の拡大を推進していきたいところですが、この厳しく激変する社会状況と、各企業の体力が落ちてきている中、それに伴って組合員も減少している現状を考えると来年度にむけての労建労協組合活動を見直さなければならない節目の時期に来ていると考えられます。1年間をめぐりに討議を十分行い方向づけをしていきたいと考えます。(3)においては、道建労協独自で進める部分と建設産労壘合同部分とを区別して効果的に取り組んでいきます。(4)は、機関誌「PAVE」を加盟組合員の「話の広場」とします。

道建労協は昭和60年12月に発足し、16年の歳月が流れ現在10単組8210人の組織をもって活動してきました。今後も、道建労協加盟単組組合員の英知と行動により、道路建設産業の組合員を代表とする組織として充実した活動を行っていきます。

(議長 白井好雄)

「ヒラメ馬鹿」

フリー
ウェイ

秋の台風が気にかかる頃になると何をしても手につかず状態になり、心は常磐方面の海外あたりに浮遊している。3月末日をもって禁漁となったヒラメが10月の大原港を皮切りに11月の鹿嶋の日立と北へ向かって解禁となる。「馬鹿」とはその道にどっぷり漬かった人間によく使われる名詞であるが、小生も自他ともに認める「釣りバカ」として、この種の諸兄達の末席に居座っている。

1年を通しての釣行回数は少なく見積って月に3〜4回程度としても、年に40回前後となるが、四季折々の釣魚の中でもヒラメは趣を異にするものである。ヒラメ釣りの何が私を含めた「ヒラメバカ」を夢中にさせるかというと、事由は各々あるにせよ共通点がある。それはスリルである。ヒラメの捕食動作は古の格言に「ヒラメ四十」とあるように餌となる鱒や小鯨等を上目づかいに見つけると底より浮上し、生き餌を一口气には飲み込まず、尾びれの方から噛み砕いていく。針は生き餌の鼻先と孫針を使用する場合は背びれの辺りに刺してあるのだが、この針にフッキングさせる確立は五分より低いと思われる。当りがでて引き込むまでの間が潮の状態や天候等その都度変わってくる。いずれにしても、せつかちは禁物である。「食い込め食い込め」と心で念じながら、胸が高鳴るのである。こんなスリルはそうはない。

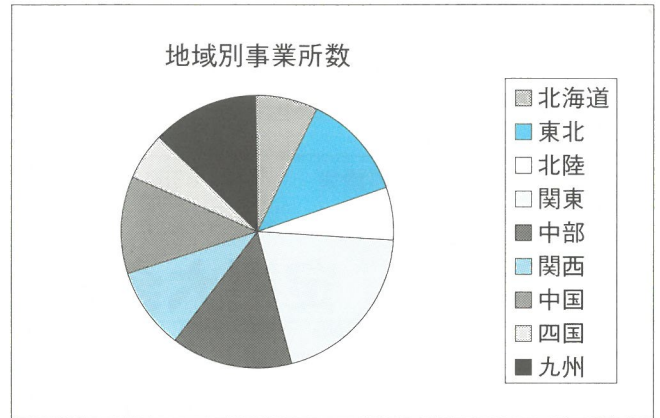
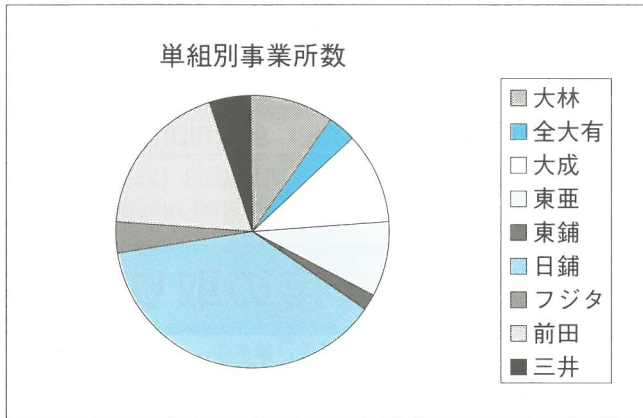
さて、それはそうとそろそろ下期一時金の交渉が始まる。ヒラメの捕食動作同様に目の前には餌に飛びつくのではなく噛み砕いていく余裕が欲しいものだ。

いずれにしても、釣られて間抜けな面をさらすのは同様に。

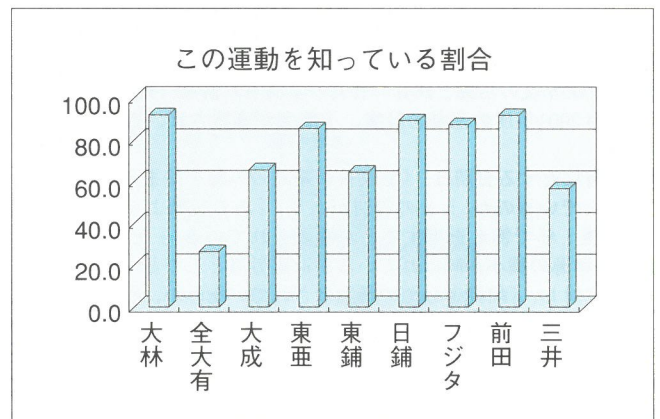
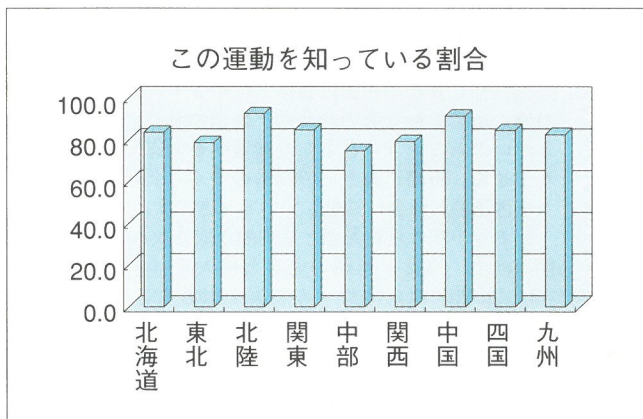
(東京舗装工業社員労働組合 古里)

土曜閉所アンケート結果

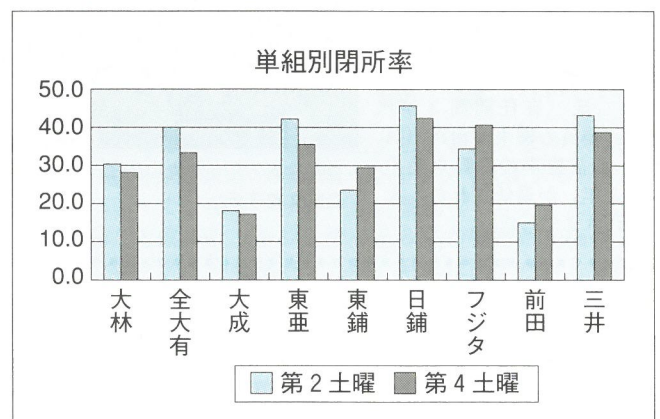
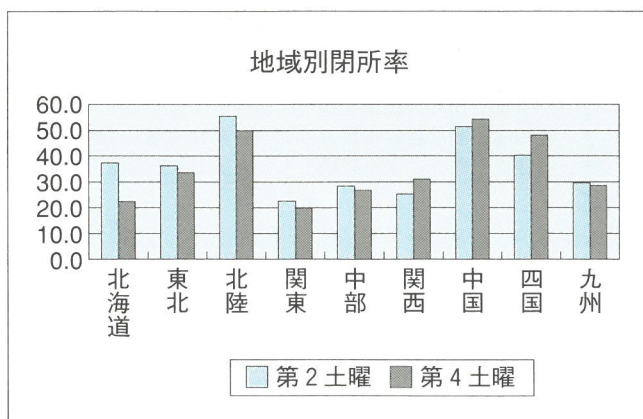
道建労協では2001年6月に土曜閉所推進運動を展開した。「あきらめないで土曜閉所」というコピーの入ったポスターを全事業所に配布し、6月の第2、第4土曜日の閉所を呼びかけた。7月上旬に前回(2000.11)のアンケート結果(土曜休日取得を可能にした取り組み)をフィードバックするとともに、今回の結果を調査した。



加盟単組の各事業所に送付し、897の事業所から回答を頂いた。今回、不動建設労働組合道路部会は1事業所のみとなったので集計からは除いた。単組別では日本鋪道労働組合、地域別では関東の回答結果が全体の集計に大きく影響すると思われる。



この運動は建設産労懇の仲間とともに展開しているが、今回道建労協加盟単組にどこまで浸透しているか調査するため、「この運動を知っていましたか?」という設問を設けた。地域別にはそれ程差異はなく約8割の事業所では「知っていた」という答えが帰ってきたが、単組別ではかなりのばらつきが見られた。



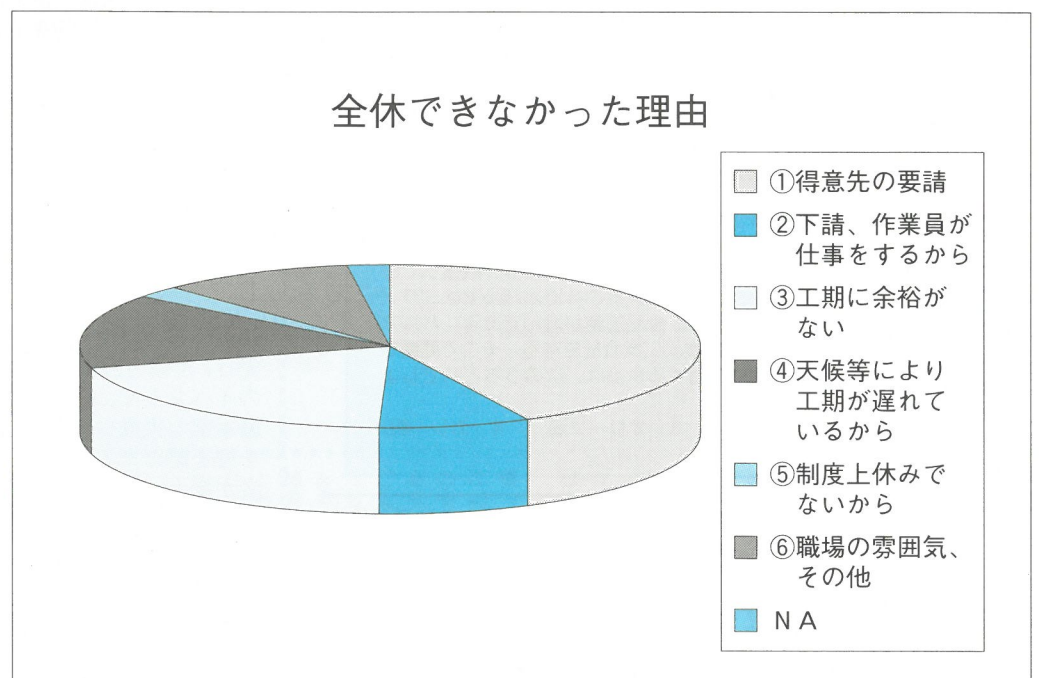
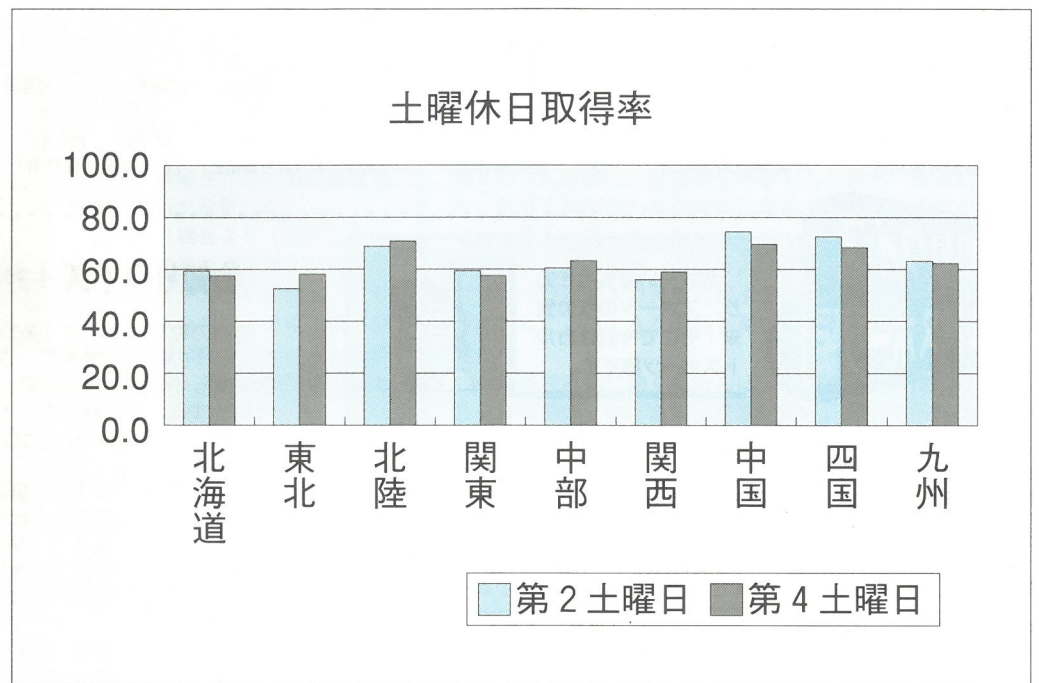
閉所の状況(設問Q1で①と答えた数の全事業所の数に対する割合)を表したのが上記の表である。全体では第2土曜日は33.8%、第4土曜日は32.4%の事業所が閉所している。

地域別にみると前回の調査結果と同様に中国、四国が高い数値を示しているが、北陸でかなりの改善が見られた。どういった点に努力されたか、設問Q3（第2、第4合計）を調べたところ、①得意先に理解を求めた（19.3%）②下請、作業員に理解を求めた（5.3%）③業者間でお互いに休むように連絡をとりあった（17.5%）④その他（58.0%）とあまりにも「その他」が多すぎて説明できなかった。全体の事業所の数に対する支店、製造系事務所の数（3割強）が影響したのかもしれない。

また、単組別の「この運動を知っている割合」の表と「単組別閉所率」の表の双方見てみると①この運動は知られていないが、閉所率が高い単組②この運動はあまり知られておらず、かつ閉所率が低い単組③この運動はよく知られているが、閉所率が低い単組④この運動は知られていて、閉所率もそれなりの単組に分かれた結果となった。

事業所閉所ができなかったものの組合員がどのくらい休めたかを地域別に表すのが左表である。やはり、閉所した事業所の多い北陸、中国、四国が比較的高い数字となったが、全体的には閉所率ほどの差異は見られない。全体では第2土曜日には61.1%、第4土曜日には61.3%の組合員が休日を取得している。

全休とできなかった理由（第2、第4の合計）については右表の通りである。やはり、得意先の要請が一番多く、この厳しい時代にお客様からの依頼があれば断ることができないのが実状というところか。次いで月に余裕がないからとなっている。道建労協として業界、世間一般に対して理解を求めると同時に、関係官庁に対して工期の適正化を要請することが今後の活動に必要なと感じられる。尚、事務局の手違いで回答に「職場に休みにくい雰囲気があるから」と「その他」を同じ⑥にしてしまったため、両方の合計でしか表示できなくなってしまったとお詫び申し上げます。

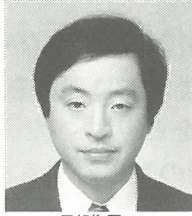


新年度役員紹介

7月30日開催の第16回定期大会で下記の方々が新役員となりました。



議長
白井 好雄
(日本舗道労働組合)



副議長
工川 靖
(東亜道路労働組合)



副議長
佐藤 宗吾
(大成ロテック社員組合)



副議長
黒沢 武典
(大林道路職員組合)



事務局長
長野 滋
(前田道路労働組合)



中央執行委員
竹山 周作
(全大有労働組合)



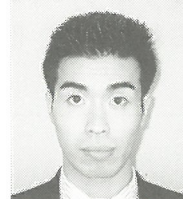
中央執行委員
澄川 武
(三井道路労働組合)



中央執行委員
曾根崎 義治
(不動産労働組合)



中央執行委員
岩田 孝
(フジタ道路職員組合)



中央執行委員
小林 由幸
(東京舗装工業社員労働組合)



中央執行委員
伊藤 園美
(日本舗道労働組合)



会計監事
須崎 厚
(東亜道路労働組合)



会計監事
藤田 恵子
(大成ロテック社員組合)

物知りクイズ 「カルトスポーツ編」

あつ〜い夏も過ぎ去り、スポーツの秋の到来！そこで今回はカルトスポーツ編です。



- Q1** スポーツといえば野球、野球といえば大リーグ、大リーグといえばイチロー！というくらいやっぱり凄かった！そこで問題です。歴代単独9位にランクインした今シーズンの安打数は、次のうちどれでしょう。
(1. 242安打 2. 350安打 3. 135安打 4. 160安打)
- Q2** 野球といえば、ミスタープロ野球、長嶋茂雄氏である。(高年齢者向けです。) カリスマ監督もついにユニフォームを脱ぎ、巨人軍の総指揮は若大将、原辰徳氏へとバトンタッチされた。そこで問題です。原辰徳氏を野球の道に進ませたことで有名な父親の名前は、次のうちどれでしょう。
(1. 哲夫 2. 千晶 3. 貢 4. 敬之)
- Q3** 記憶に新しい、高橋尚子の世界新記録樹立(2時間19分46秒)！長嶋監督の引退セレモニーをしのぐ好視聴率を記録、まさに国民的アイドル？である。しかし、我々のアイドルの記録を僅か1週間で破った(2時間18分47秒)つわものが登場した。そこで問題です。そのつわもの名前は、次のうちどれでしょう。
(1. ショーター 2. ロルーベ 3. ジョーンズ 4. ステレバ)
- Q4** 2002W杯の開催が本当に待ち遠しい。注目すべきはやはりヒデ(中田英寿)の動向である。今シーズンからパルマ/セリエAに移籍し、今まで以上の活躍が期待されている。頑張ってほしい日本サッカーの救世主である。ところで、パルマはミラノの南東に位置する都市であり、食品工業が盛んである。パルマの親会社(パルマラット)も食品工業会社である。そこで問題です。パルマラットが主に製造する食品は、次のうちどれでしょう。
(1. ハム 2. パスタ 3. オリーブ油 4. カレー粉)

物知りクイズ「カルト夏休み編」当選者発表

前回の物知りクイズ(第54号PAVE)の当選者が決定いたしました。Q1の赤城乳業(株)のかき氷パー「ガリガリ君」シリーズの難問で若干滑って転倒。答えに窮したら、迷わず出題にあった製造元に問い合わせるのが一番です！全問正解の下記の方々に粗品をお送りいたします。ご応募ありがとうございました。

前回の答え	Q1	夏みかん
	Q2	ビーナス
	Q3	ダイハード
	Q4	オリオン座
	Q5	カリビアンパイレーツ
当選者	黒澤 昌史	(大林道路職員組合)
	関 孝之	(大林道路職員組合)
	北川 房代	(全大有労働組合道路部会)
	寺田 貴司	(全大有労働組合道路部会)
	松浦 泰明	(全大有労働組合道路部会)
	黒川由美子	(全大有労働組合道路部会)
	近藤 理恵	(東亜道路労働組合)
	浅野 雄二	(東亜道路労働組合)
	杉 芳広	(東亜道路労働組合)
	大城 正義	(東亜道路労働組合)
	吉田 欣吾	(不動産労働組合道路部会)
		(敬称省略)

これからも物知りクイズをよろしく願っています。

編集後記

10月と言えば清々しい青空が広がるまさにスポーツの季節。先日、道建協本部のある東京都中央区「区民スポーツの日」のイベントで、駅伝(リレー)に参加してきました。道建協本部と大成ロテックの2チーム8名の健脚が20kmのコースを襷を繋げタイムを競いました。結果は両チームとも第4走者が繰上スタートと言う屈辱を味わう羽目になりましたが、タイムと順位を争う緊張感そして襷を繋げねばならないプレッシャーはその場限りの急造チームに達成感と連帯感をもたらしてくれました。第78回東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会が10月20日に東京都立川市の昭和記念公園で行われ、このPAVEがお手元に届く頃には出場校が出揃っていることと思います。母校の名誉と全員の気持ちを繋いで走る若者が一寸羨ましく思えます。

(前田道路労働組合 長野 滋)

〈応募方法〉下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募をお待ちしております。

- 回答
 - 賞品送り先住所・氏名および所属単組名
 - 締め切り 11/30
 - 今月の紙面で良かった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。
 - 宛先 〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 日本舗道労働組合内
道路建設産業労働組合協議会「PAVE」宛 FAX 03-3535-4810
- ※発表は次号(1月発行予定) URL <http://www1.ocn.ne.jp/cru>